



第25回 少年消防クラブ員研修会



7月26日(木)に第25回少年消防クラブ員研修会を、社団法人島根県消防設備協会の共催により開催し、管内23クラブ、103名の参加者がありました。

研修では、消火栓を使用しての放水体験、起震車による地震体験、庁舎・車両の見学を行いました。

午後からは出雲空港消防隊、島根県防災航空隊に行き、活動用資器材や航空隊員の訓練を見学しました。クラブ員は普段扱うことのない資器材や施設の見学等の貴重な体験をしました。

この研修を通じ、災害の恐ろしさ、命の大切さ、友達のすばらしさ等を学び、防火・防災の意識付けができ、また、消防車両や消防業務の内容を詳しく学習し、クラブ員と消防職員との交流を図る事で、消防への理解や関心を持っていただきました。

今回の研修に参加したクラブ員たちが、「消防士になる」という夢や憧れを抱き、いつの日か消防士として雲南消防に来てくれることを心待ちにしています。



カレーライス作り



屋内消火栓放水体験



消防車両の見学



起震車体験



防災航空隊見学



空港消防隊見学

～少年消防クラブ員のことば～

頓原小学校 6年 深石 樹(ふかいし たつき)さん



僕は少年消防クラブで色々なことを習いました。例えば消火栓の使い方や消火器の使い方、他にも色々なことを習いました。この中でも僕が一番ためになったことは煙体験です。

これは、迷路のようになった部屋に人工的に作った煙を部屋全体にばらまき、その迷路を通して出口まで行くというものです。僕はそれをやった時はどこに行けばいいかわからなかったけど、出口まで行くことができました。

僕は、少年消防クラブで学んだことを生活に役立てていきたいと思いました。

斐伊小学校 6年 宇田川 莉子(うだがわ りこ)さん



私は、初めて少年消防クラブに参加しました。煙体験は、学校でもしたことがあるけど、地震体験や消火器を使った訓練は初めてでした。

地震体験では、すごく揺れて、もし家や学校でこんな地震が起これたら大変だと思いました。家の家具や学校の本棚などが倒れてきたら危険なので、机の下などに入って頭を守ることを教わりました。

消火器の訓練では、消火器の仕組みや使い方などが分かりました。実際に使ってみたら簡単だったけど、本当に火災が起これたら消すのは難しいと思います。

もし火事や地震が起きたら、今回学んだことを少しでも活かせるといいです。

秋の全国火災予防運動

11月9日～11月15日



全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とするものです。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

—3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

●●●●ストーブの季節になりました

これからだんだんと寒くなり、ストーブ・ファンヒーターを使用する季節となります。安全にご使用いただくための注意事項を紹介します。

■スプレー缶等を近くに置くのはやめましょう。破裂・爆発の危険があります。



■燃料は「灯油」です。ガソリンは火災となる危険があります。



■給油するときは必ず火を消しましょう。灯油が引火し火災となる危険があります。



■ストーブの上に洗濯物を干すのは危険です。



★以上の事項に注意いただき、安全・快適にストーブ・ファンヒーターを使用しましょう★